

三年	国語	Gアップシート	読む4
----	----	---------	-----

組	番・氏名
---	------

★論語の言葉をもとに、現代風の「例え話」を作ろう

◇福田さんの学級では、論語から気に入った部分を選び、それを分かりやすい「例え話」にしてスピーチすることになりました。そこで福田さんは次の部分を選んで「例え話」を考えることにしました。

子曰はく、「位なきを患へず。立つ所以を患ふ。己を知るものなきを患へず、知らるべきを為すを求む。」と。

子曰、「不患無位、患所以立。」

不患莫己知、求爲可知也。」（里仁）

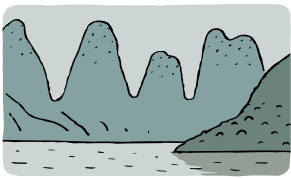
位…社会的な地位

患へず…思い悩んではいけない

立つ所以を…地位にふさわしい実力がなくないことを

己を知るもの…自分の事を認めてくれる人

知らるべきを為すを求む…認められるように努めるべきだ



問一 この言葉は誰が誰に向けて語ったものか。ア～エから最も適切なもの一つを選びなさい。

- ア 子供が親に向けて語った。
- イ 兄が弟に向けて語った。
- ウ 上司が部下に向けて語った。
- エ 先生が弟子に向けて語った。
- オ 先輩が後輩に向けて語った。

【古典や漢文の登場人物の設定の仕方をとらえる】

問二 書き下し文を参考にしながら、不患無位に返り点を付けなさい。

【文語の決まりや訓読の仕方を知る（一年）】

不患無位

問三 この言葉を現代に置き換えたなら、どのような人物を対象にして話した言葉だと考えることができるか。適切なものをア～エから一つ選びなさい。

【様々な観点で読み味わうために、とらえたことをもとにして文章全体の理解を深める】

- ア 立候補しなかったが、仲間に推薦されて委員長になった生徒。
- イ 活動がんばったのに、キャプテンに選ばれなかった野球部員。
- ウ 練習をがんばったので、大会で優勝することができた卓球部員。
- エ テスト勉強をがんばったのに、点数が目標より低かった生徒。

◇福田さんは論語の文章をもとに、次のようにスピーチの原稿を書きました。

例えば山田くんというサッカー部員の少年がいたとします。彼は毎日練習をがんばっていましたが、先日発表された大会のメンバーには選ばれませんでした。山田くんはそのことにショックを受け、練習に身が入らず監督への不満をもちます。そんな時、コーチからこう話をされました。

「選手になれなかったことが悔しいのはわかるが、そうやっていじけてれば選手になれるのか。そんなことよりどうやれば選手に選ばれる實力をつけられるのか考えた方がよくないか。『己を知るものなきを患へず、知らるべきを為すを求む』という言葉もある。監督に實力を認めて欲しいなら、そのためにするべき事があると思うぞ」と。

孔子のこの言葉は  A  B ということを意味していると思います。この言葉を知って私は   と思いました。

問四  A  B には福田さんの読み取った論語からのメッセージが入ります。この部分に入るものとして適当なものをア～エから一つ選びなさい。

【古文や漢文を読んで、文章に表れているものの見方や考え方の違いを整理する】

- ア 努力は必ず報われるから、自分自身もつと努力を重ねていくことが大切だ
- イ 周りにどう思われようと、自分自身が正しいと信じた道を進んでいくべきだ
- ウ 周りのことをどうこう考えるよりも、自分自身がどうなのかを考えるべきだ
- エ 自分に本当の實力があるのらいつか自分のしたいことができるようになる



問五 福田さんは  B  C にこの話に対する自分の考えを入れました。この部分に入るものとして適切なものを、次のア～エから二つ選びなさい。

【古文や漢文を読んで、人間、社会、自然などについて自分の意見をもつ】

- ア 十分な力があっても、認められないこともあるのではないか
- イ 周りに認めてもらうために、積極的にアピールしていこう
- ウ 自分の實力を信じ、何かに邪魔されないように気をつけよう
- エ 何かのせいにせず、自分自身を高める努力をしていこう
- オ 結果を出すためには、人から見えないところでの努力も必要だ



【読む4 論語の言葉をもとに、現代風の例え話を作ろう】

問一 エ

問二 不患無位

問三 イ 問四 ウ 問五 ア、エ

解説

問一

「論語」は主に、師である孔子とその弟子とのやりとりによって構成されています。この部分も孔子が弟子に話した言葉が記されています。

問三

孔子の話している内容は「周りの人に認めてもらえないことを悩むよりも、自分の力が周りの人に認めてもらえない程度であることを悩みなさい」ということになります。同じ悩みを持っているのは「イ」です。

問四

孔子をコーチ、弟子を山田くんに入れ替えて、「認めてもらえない悩み」を表現していますので、「ウ」になります。

問五

論語に記された孔子のメッセージは、社会生活のどの部分に関わっているか考えると様々なとらえ方ができます。「ア」は考えられる事例、「エ」は自分の感想や決意。「イ」と「ウ」は孔子の言葉のテーマからずれています。